

ようこそ 皇居へ

無料	日	月	火	水	木	金	土
皇居一般参観	X	X	●	●	●	●	●
皇居東御苑	●	X	●	●	●	X	●

※上記以外にも休園日、参観休止日がございます。詳細はHPでご確認ください。https://www.kunaicho.go.jp

参観音声ガイド
宮内庁公式アプリ

iOS / Android 用

当日受付(要整理券) 事前予約はこちら <https://sankan.kunaicho.go.jp/register/month/1001?ocale=ja>

皇居一般参観 (1時間程度の皇居無料ガイドツアー: 宮殿は外観をご覧ください)

	午前の回	午後の回
当日受付整理券配布	9:00	12:30
受付開始	9:30	13:00
参観開始-終了予定	10:00-11:15	13:30-14:45

- ※参観開始時刻10分前までに必ずお越しください。
- 人数制限があります。
- ご本人を確認できるもの(パスポート・マイナンバーカード・運転免許証・在留カード・健康保険証など)をご持参ください。コピーは不可。

ききょうもん
★**桔梗門**
※整理券配布場所

アクセ:

- JR 東京駅丸の内中央口から徒歩約15分
- 地下鉄千代田線二重橋前駅(出口6)から徒歩約10分
- 地下鉄三田線大手町駅(出口D2)から徒歩約10分

事前予約不要 宮殿はエリア外のためご覧いただけません

皇居東御苑 (公開エリアを自由に散策できます)

- 天皇誕生日以外の「国民の祝日等の休日」は公開。
- 月曜日が休日で公開する場合、翌火曜日は休園。
- 年末年始(12/28~1/3)は休園。
- 9:00から16:00~18:00 ※閉園時間は季節によって異なります。入園は閉園時間の30分前まで。

詳細はHPでご確認ください。https://www.kunaicho.go.jp/event/higashigyoen/higashigyoen.html

※**宮殿(外観のみ)は皇居一般参観にてご覧いただけます。**
皇居東御苑から皇居一般参観入門口の桔梗門へは、園内を通り抜けてできませんので、一度退園してから桔梗門へおまわりください。

入出門

大手門
きたはねばしもん

北桔梗門

平川門

⚠️ ご注意くださいこと ※必ず事前にお読みください

ドローン禁止 火気厳禁 花壇に入らない のぼらない

- 手荷物検査を実施します。アルコール類、ドローン、刃物類、危険物等は持ち込めません。
- 大きな荷物は、駅付近のコインロッカーに預けるなど、混雑緩和にご協力をお願いいたします。桔梗門内には、皇居一般参観者専用の小型コインロッカーがあります。皇居東御苑にはコインロッカーはありません。
- 土産物、飲料を販売しています。食事の販売はありません。
- ゴミ箱は設置しておりませんので、お持ち帰りください。
- 駐輪場、駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用ください。
- 木や石垣に登らないでください。危険な行為、迷惑になる行為は禁止しています。
- 動物(身体障害者補助犬を除く)は入園できません。

皇居 全体図



皇居とは

皇居は、明治天皇以降、今の天皇陛下までの歴代の天皇のお住まいです。現在の天皇陛下は、令和元年(2019)5月1日に即位し、第126代天皇になりました。現在の皇居の主な地形は、この場所が、天皇のお住まいとなる前、江戸城というお城があった時代に、自然の地形に人の手がかえられて形成されたものです。特に17世紀前半、江戸時代の初めの頃の工事は大規模なもので、代々の徳川将軍が居住し、政務をとる巨大な城郭として整備され、今もその名残が、皇居の各所に見られます。

- 1 宮殿**
大きな屋根と柱・梁で構成される日本古来の建築美をいかした鉄骨鉄筋造りの地上2階、地下1階の建物で、7つの棟から構成されています。昭和43年(1968)10月に完成し、翌年4月から使用を開始しています。天皇陛下が公的な事務をお執りになる所で、新年祝賀の儀、親任式、信任状捧呈式、勲章授賞式、国賀の宮中晩餐、ご会見を始め様々な行事が行われます。
- 2 宮殿東庭**
東庭は、新年・天皇誕生日の一般参観の場として使用されます。その地下は、約120台を収容する駐車場となっています。
- 3 伏見櫓**
皇居に残る江戸時代の櫓の中でも、最も美しいと言われる櫓です。17世紀に、京都にあった伏見城の櫓を解体して移設したとの言い伝えもあります。
- 4 二重橋(正門鉄橋と正門石橋)**
奥にある正門鉄橋が木製であった頃、下の溜の水まで高さ13メートルあったため、水面からいきなり橋を架けることができず、まず低い橋を架けて、その橋の上さらに橋桁を組んで橋をかけており、二重に架けられた橋という意味で今でも二重橋と呼ばれています。1月2日の新年一般参観や2月23日の天皇誕生日一般参観のため皇居を訪れる人々や、宮殿を訪れる国賓などの外国賓客は、まず、石橋を渡って正門鉄橋を通り、次に、鉄橋を渡って、東庭に入ります。
- 5 室内庁舎**
この建物は、昭和10年(1935)に建築され、明治宮殿が昭和20年(1945)に空襲で消失後、庁舎3階は、昭和43年(1968)の新宮殿落成までの間、仮宮殿として使用されていました。
- 6 生物学研究所**
天皇陛下は、我が国の農耕文化の中心である稲作について、昭和天皇のお始めになった行事を、上皇陛下からお引継ぎになりました。生物学研究所の田で、春には稲作をお手まきになり、初夏にお田植えをなさり、秋にはお稲刈りをなさいます。

- 7 大庭園**
大庭園では、およそ90種類、500鉢ほどの盆栽を管理しています。そのうち年間300鉢程度が使われ、大型の盆栽は、園を囲むときや天皇誕生日など重要な行事の際に、宮殿の南庭(玄関ホール)・北庭(玄関)などに飾られます。一般的に大きな盆栽は、宮殿の室内、御所、宮家などに飾られます。
- 8 宮中三殿**
天皇皇后陛下は、宮中三殿(賢所、皇極殿、神庫)における祭儀を大切にされています。古くから伝えられる祭儀を忠実に受け継がれ、常に国民の幸せを祈っておられます。
- 9 御所**
天皇皇后陛下、皇子内親王陛下がご使用になっており、行事等も行われています。
- 10 信任状捧呈式馬車列**
皇居では、しばしば外国からの大使が日本に赴任する際、その国の元首から託された信任状を天皇陛下に捧呈する儀式、「信任状捧呈式」が行われています。この儀式では、大使一行の東京駅から皇居までの送迎に、皇室用の自動車または馬車を使用しています。運行予定は宮内庁HPでお知らせしています。皇居外でご覧いただけます。
- 11 吹上御苑**
多様な自然が育まれるように管理しています。皇居内の生物調査(平成12年実施)で、動物は3,638種類、植物は1,366種類確認されました。
- 12 紅葉山御養蚕所**
皇后陛下は、ご養蚕を上皇陛下からお引継ぎになりました。皇居内の紅葉山御養蚕所で、春から初夏にかけて、養蚕の各段階の作業を行い、日本産品種「小石丸」を始めとした家蚕を育てられています。
- 13 皇居乾通り一般公開**
毎年、春季の桜の時期と秋季の紅葉の時期に一般公開しています。

凡例

皇居東御苑 自由散策エリア

皇居一般参観コース 徒歩約2.2km

Wi-Fi 交通 駅 トイレ

※15~18は裏面へ

